



のうえん すくすく農園だより

れいわ ねんど 2019ねんど
令和1年度(2019年度)

とよなか しりつみの わしょうがっこう
豊中市立箕輪小学校

ふじもと たか ぎ
藤本・高木 NO. 15

11月11日(月)1・2時間目に、5年生がすくすく農園で脱穀をしました。脱穀とは、乾燥させた稲から籾(稲の実【種】のこと)をとる作業をいいます。3年生は昔のくらしの勉強の一環として、脱穀作業や道具などの見学をしました。

現在の農業では、コンバインという機械を使って稲刈りと脱穀を一気に 行いますが、すくすく農園では、昔ながらの千歯こき・足ふみ脱穀機を使い脱穀しました。手作業になるので、きれいに脱穀することができず、稲に籾がついた状態でした。その後は竹を使ったり、指で籾を脱穀していきました。機械ですると早い作業ですが、手作業だととても時間がかかりました。脱穀された籾の中には藁くずがたくさん混ざっているので、風で藁を吹き飛ばしていきます。今回は唐箕という木でできた道具を使用しましたが、現在はコンバインという機械で稲刈りと同時に脱穀ができ作業軽減が可能となりました。昔の農業と近代の農業の大きな違いは作業にかかる時間ではないでしょうか。この唐箕という道具は、今ではとても貴重なものです。箕輪小学校に展示されているので、皆さん見てみてくださいね！



せんば ちが あし だっこく き
千歯こき・足ふみ脱穀機



とう み
唐箕



ふるい



こきはし



うらめん つづ
裏面に続きます